

平成30年度【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票

局	教育委員会事務局	課	学校教育課	事業番号	5111					
事業概要 (PLAN)		評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか								
基本目標	5 女性の生涯にわたる健康の確保	実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。 文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓							
方針	1 女性の健康と権利(リプロダクティブ・ヘルス/ライツ)に関する意識の浸透									
施策の方向	1 学校等における性の教育の推進									
事業番号/事業名	5111 性の教育の推進	評価2 (CHECK) 数値目標								
事業内容	学習指導要領に基づき、外部人材の活用も含めて発達段階に応じた生命と人権を大切に性的教育の推進を図る。	目標項目 保健所等と連携した性の教育を実施した校数の割合								
29年度に向けた方向性 (PLAN)	学習指導要領に内容に基づき、教科の授業や講演等の取組を継続する。	目標・実績	目標値	増加	達成年度	33年度	28年度	29年度	小学校:16/41校 中学校:17/18校	小学校:20/41校 中学校:16/18校
参考	関連する計画	実績の評価	<input checked="" type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考			
実施内容 (DO)		評価3 (CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容								
※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。		男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について								
29年度	「保健」や「理科」の授業を通じて「男女の性差」「二次性徴」「生命の尊さ」等を学習する。小・中学校では、「こころの教育推進事業」を活用して産婦人科医師や助産師などを招き、性教育の講演を行った学校もあった。 外部講師による教育を実施した学校:(小学校20校/41校、中学校16校/18校) 専門的な観点より命の大切さを学び自他の生命を大切にすることを学習する。思春期を迎えた生徒に対して、医療現場の立場から医学的専門知識を生徒にわかりやすく説明し、生徒が自他共に思いやりの気持ちをもって接することの大切さを学ばせるために性教育講演会を実施し、性交による妊娠、避妊、中絶、性感染症について説明を受けるなどの取り組みを行った学校もある。									
前年28年度	「保健」や「理科」の授業を通じて「男女の性差」「二次性徴」「生命の尊さ」等を学習する。小・中学校では、「こころの教育推進事業」を活用して産婦人科医師や助産師などを招き、性教育の講演を行った学校もあった。 外部講師による教育を実施した学校:(小学校16校/41校、中学校17校/18校)	課題 (CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。								
		生徒が性について正しく考えることができるよう取組む必要がある。								
		今後の方向性 (ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。								
		生徒の性に関する科学的認識を深めさせると共に、生命を尊重し、自らの行動を正しく判断・選択できる態度を育成することを目的とした学習指導要領の内容に基づいた、教科の授業や講演等の取組を継続する。								

平成30年度【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票

局	教育委員会事務局	課	学校教育課	事業番号	5112
事業概要 (PLAN)	基本目標 5 女性の生涯にわたる健康の確保 方針 1 女性の健康と権利(リプロダクティブ・ヘルス/ライツ)に関する意識の浸透 重点方針 施策の方向 1 学校等における性の教育の推進 事業番号/事業名 5112 思春期の性に関する心身の悩みの相談 事業内容 保健室等で個別指導や教育相談を行うなど、性の不安や悩みに対する相談や性への健全な態度を培うように努める。				
29年度に向けた方向性 (PLAN)	【課題】子ども達に、「いつでも相談できる」と保健室等を身近に感じてもらうことが課題である。 【今後の方向性】一部の学校ではあるが、例えば身体測定で保健室に集合した際に、「保健室はケガや病気の時だけでなく、心配なことや悩みごとなど気になることをいつでも相談していい」ということを養護教諭から20分ほどかけて説明するなど、養護教諭や保健室を身近に感じるよう呼びかける機会を設けたり保健日より養護教員から生徒向けに「保健室の先生に話をしてください」などと呼びかけを行っており、相談しやすい保健室と感じられるような呼びかけを行っていく。				
参考	関連する計画	実績の評価	<input type="checkbox"/> 達成している <input type="checkbox"/> 下回った <input type="checkbox"/> 備考		
実施内容 (DO)	※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。				
29年度	小学校でも、中学校でも、養護教諭やスクールカウンセラー等が児童生徒から性に関する悩みの相談を受けた時には、丁寧に個別に対応している。 ○年間の相談件数 小学校77件(二次性徴・身体の変化67件、デートDV0件、男女交際5件、その他5件)。 中学校247件(二次性徴・身体の変化90件、デートDV3件、男女交際64件、その他90件)。 高校17件(二次性徴・身体の変化0件、デートDV2件、男女交際6件、その他9件)。 【取組み例】 男女間の交際において互いに優しく支え合い、良好な関係を築く態度を育成することを目的に、尼崎市女性センター・トレビエ職員岩田さやか氏を講師に招き、3年生を対象にデートDV防止セミナーを行った。講演の途中には生徒のロールプレイングもを行い、更にセミナー終了後、感想文を書かせることで、内容を深めさせた。また、生徒の性に関する科学的認識を深めさせると共に、生命を尊重し、自らの行動を正しく判断・選択できる態度を育成することを目的に、ウイメンズクリニック横田 院長 横田光氏を講師に招き、3年生を対象にいのちとこころの講演会を行った。講演終了後は感想文を書かせ、内容を深めさせた。講演会をきっかけに、性に関する不安や悩みを保健室で打ち明ける生徒がいる学校もあった。				
前年28年度	小学校でも、中学校でも、養護教諭やスクールカウンセラー等が児童生徒から性に関する悩みの相談を受けた時には、丁寧に個別に対応している。 ○年間の相談件数 小学校99件(二次性徴・身体の変化85件、デートDV0件、男女交際8件、その他6件)。 中学校252件(二次性徴・身体の変化50件、デートDV2件、男女交際91件、その他109件)。 高校11件(二次性徴・身体の変化0件、デートDV1件、男女交際8件、その他2件)。 子ども達に、「いつでも相談できる」と保健室等を身近に感じてもらうことが課題である。				
評価1 (CHECK)	(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか 実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください <input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとられずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓				
評価2 (CHECK)	(CHECK) 数値目標 目標項目 目標・実績				
目標値	達成年度	年度	28年度	29年度	
実績の評価	<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考
評価3 (CHECK)	(CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容 「思春期の性に関する心身の悩みの相談」について、保健室等の相談場所が子どもたちにとって気軽に行きやすい「居場所」になるよう取組を進められた。 【学校教育課】 男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について 朝会や全校集会、保護者への通知などで定期的に周知してだけでなく今後も生徒と養護教諭などの信頼関係を築くための機会を意識してつづいていき、気軽に相談できて行きやすい保健室と感じられるような取組みを行っていく。				
課題	(CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。				
今後の方向性 (ACTION)	(ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。 普段から保健室に行けば相談できるという雰囲気づくりが大切である。性に関する講演会や保健委員会の活動でデートDVなどを取り上げることで、学校で性や男女交際について話すことはタブーではない、話題にしてよいという雰囲気をつくるとともに、その際に保健室が気軽に相談できる場であることを周知し、生徒が相談しやすい環境づくりを行っていく。今後も、保健室でいつでも相談できることを定期的に周知するとともに、性やデートDVなどに関する講演会を実施する。				

平成30年度【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票

局	健康福祉局	課	健康増進課	事業番号	5113												
事業概要 (PLAN)	5 女性の生涯にわたる健康の確保																
基本目標	1 女性の健康と権利(リプロダクティブ・ヘルス/ライツ)に関する意識の浸透 重点方針																
方針	1 学校等における性の教育の推進																
施策の方向	1 学校等における性の教育の推進																
事業番号/事業名	5113 学校と連携した性の教育の実施																
事業内容	保健所・保健センター・各地域保健担当での随時相談を受けるほか、学校と連携して生徒や保護者を対象に性の教育を実施する。また、思春期の中学生等を対象に、「赤ちゃんふれあい体験学習」を行い、命の尊さを学ぶ機会をつくる。																
29年度に向けた方向性 (PLAN)	<p>自分自身や相手のことを大切にするためには、思春期に入る小学生の時から成長に伴う心身の変化などの正しい知識を伝えていくこと、思春期に入った中学生には妊娠の成立や自身のライフプランを考えることが重要なので、引き続き実施していく。</p> <p>各校での性教育を実施する際には、事前の打ち合わせや事後カンファレンスから教諭と情報を共有し連携して行っていく。また、小中学校を通じた計画的、系統だった性教育については、当課だけでは体制を構築していくことは、難しく、次世代育成対策推進行動計画をふまえ、学校との連携の中で協力を得ながら取り組みを進めていく。</p>																
参考	関連する計画	地域いきいき健康プランあまがさき(地域保健医療計画)															
実施内容 (DO)	<p>※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。</p>																
29年度	<p>【健康増進課】 事前の打ち合わせや事後カンファレンスを通して、学年担当教諭や性教育担当教諭、養護教諭などと性の知識や情報を共有し、児童・生徒へ性に関する健康教育を実施することで、性感染症の予防や望まない妊娠の防止につなげる。 ・学校と連携した性教育 21回 612人(幼稚園1園、小学校2校、中学校2校)(南北保健福祉センター地域保健課(29年12月までは保健センター・地域保健担当)と共同で実施分も含む)</p>																
前年28年度	<p>【健康増進課】 事前の打ち合わせや事後カンファレンスを通して、学年担当教諭や性教育担当教諭、養護教諭などと性の知識や情報を共有し、児童・生徒へ性に関する健康教育を実施することで、性感染症の予防や望まない妊娠の防止につなげる。 ・学校と連携した性教育 15回 633人(幼稚園1園、小学校3校、中学校2校)(保健センターと共同で実施分も含む)</p>																
評価1 (CHECK)	<p>男女共同参画の視点で事業を実施できたか</p> <p>実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとられずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 <p>(その他の特記事項) ↓</p>																
評価2 (CHECK)	<p>数値目標</p> <p>目標項目</p> <table border="1"> <tr> <td>目標・実績</td> <td>目標値</td> <td>達成年度</td> <td>年度</td> <td>28年度</td> <td>29年度</td> </tr> <tr> <td>実績の評価</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>達成している</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>下回った</td> <td>備考</td> </tr> </table>					目標・実績	目標値	達成年度	年度	28年度	29年度	実績の評価	<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考
目標・実績	目標値	達成年度	年度	28年度	29年度												
実績の評価	<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考												
評価3 (CHECK)	<p>男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容</p> <p>男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について</p>																
課題 (CHECK)	<p>※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。</p>																
今後の方向性 (ACTION)	<p>※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。</p>																
【健康増進課】	<p>性の教育については、一体的にプログラム化し、全学校の健康教育の実施に向け、学校や産婦人科医会、助産師会と課題を共有し、今後のあり方を検討する。</p>																

平成30年度【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票

事業概要 (PLAN)	
基本目標	5 女性の生涯にわたる健康の確保
方針	1 女性の健康と権利(リプロダクティブ・ヘルス/ライツ)に関する意識の浸透 重点方針
施策の方向	2 母性保護についての意識啓発
事業番号/事業名	5121 ママやパパのためのマタニティーセミナー(両親学級)の実施
事業内容	母性の保護及び新生児の保育を主目的とした「ママやパパのためのマタニティーセミナー(両親学級)」を開催する。
29年度に向けた方向性 (PLAN)	・平成30年1月の保健福祉センター2所化後の、実施内容や実施回数・実施場所について今後検討していく。 ・妊娠期からの切れ目のない支援を実施していく上で、第1子の妊娠で今までに子どもと関わった事がない妊婦に対しては、積極的にマタニティーセミナーを勧めていく。
参考	関連する計画 地域いきいき健康プランあまがさき(地域保健医療計画)
実施内容 (DO)	※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。
29年度	<p>○ママやパパのためのマタニティーセミナー 妊娠期から子育てについての知識を習得し、妊婦同士や先輩ママとの交流会を取り入れることで、子育て中の孤立化を防ぎ、夫婦や地域で子育てを行う基盤づくりをしている。 ①妊娠期からの産後の健康管理・子育て体験・妊婦体験 58回(妊婦625人(平成29年度妊娠届出妊婦のうち15%参加)、夫255人(夫婦で参加41%)その他13人(祖父母等) 1回あたり15.3人参加 保健センター・地域保健担当(平成29年12月まで)南北保健福祉センター地域保健課(平成30年1月から)で実施 ②マタニティークッキング ③マタニティ歯ッビーセミナー</p> <p>○休日版 パパのためのマタニティーセミナー 仕事等で平日のマタニティーセミナーに参加できないパパのための育児教室を、日曜日に実施している。 【内容】①パパの妊婦体験 ②育児体験(オムツ交換・ミルクの飲ませ方・着替えの仕方など) ③先輩パパ・ママの出産・子育て体験談を聞いてみよう 【回数】2回/年 【参加者】142人(妊婦とパートナー58組116人、先輩パパ7人、先輩ママ9人子ども10人)</p> <p>○休日版マタニティーセミナー(クッキング&ブラッシング) 両親参加の子育ての視点や家族の健康を考えるきっかけとして、これまで妊婦対象に実施してきた栄養教室や歯の教室について夫婦対象に休日に開催した。 【回数】4回/年 【参加者】78人(妊婦とパートナー39組78人)</p>
前年28年度	<p>○ママやパパのためのマタニティーセミナー 妊娠期から子育てについての知識を習得し、妊婦同士や先輩ママとの交流会を取り入れることで、子育て中の孤立化を防ぎ、夫婦や地域で子育てを行う基盤づくりをしている。 ①妊娠期からの産後の健康管理・子育て体験・妊婦体験 68回(妊婦644人、夫248人、その他8人) 保健センターで実施 ②マタニティークッキング ③マタニティ歯ッビーセミナー</p> <p>○休日版 パパのためのマタニティーセミナー 仕事等で平日のマタニティーセミナーに参加できないパパのための育児教室を、日曜日に実施している。 【内容】①パパの妊婦体験 ②育児体験(オムツ交換・ミルクの飲ませ方・着替えの仕方など) ③先輩パパ・ママの出産・子育て体験談を聞いてみよう 【回数】2回/年 【参加者】149人(妊婦とパートナー55組110人、先輩パパ18人、先輩ママ21人)</p> <p>○休日版パパママセミナー 両親参加の子育ての視点や家族の健康を考えるきっかけとして、これまで妊婦対象に実施してきた栄養教室や歯の教室について夫婦対象に休日に開催した。 【回数】6回/年 【参加者】48組95人</p>

局	健康福祉局	課	健康増進課	事業番号	5121
評価1	(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか				
実施できた項目に	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓				
を入れてください					
評価2	(CHECK) 数値目標				
目標項目					
目標・実績	目標値	達成年度	年度	28年度	29年度
実績の評価	<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考
評価3	(CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容				
	男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について				
課題	(CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。				
	市の平日のマタニティーセミナーの受講者数が少ない。(平成29年度妊娠届出者数の15%が参加)				
今後の方向性	(ACTION) ※上記課題解決にむけての取り組みの方向性を記載してください。				
	妊娠期から切れ目のない支援を実施するために、平成30年4月から南北保健福祉センター地域保健課に母子健康支援包括支援センターを機能付加した。現在、妊娠届出妊婦の約15%と参加率は低いが、そのうち41%は夫と一緒に参加出来ている。夫婦が妊娠中から共に子育てのイメージが持て協力して子育てが出来るよう産婦人科医院でのマタニティーセミナーの受講状況も確認しながら、今後も妊娠届出時等に積極的にマタニティーセミナーを勧めていく。				

平成30年度【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票

局	健康福祉局	課	健康増進課、事業推進担当、疾病対策課、保健企画課	事業番号	5211
事業概要 (PLAN)	<p>基本目標 5 女性の生涯にわたる健康の確保</p> <p>方針 2 性差をふまえた女性の健康保持増進 重点方針</p> <p>施策の方向 1 女性の健康をおびやかす問題に対する予防・啓発</p> <p>事業番号/事業名 5211 喫煙・アルコール・薬物・HIV／エイズ・性感染症に関する啓発</p> <p>事業内容 地域・職域を対象とした健康講座、エイズ予防啓発キャンペーン、覚醒剤乱用防止キャンペーン等を通じ、喫煙・アルコール・薬物・HIV／エイズ・性感染症に対する予防啓発を図る。</p>				
29年度に向けた方向性	<p>【健康増進課】 ＜禁煙＞ 平成25年度に実施した調査研究「妊娠期から行う効果的な禁煙支援の検証」の結果から、「健やかな妊娠・出産を迎える」という目標が禁煙の動機づけとなった後、「自分のために家族のために禁煙をする」という長期目標への動機づけ支援を行うことが、禁煙継続の支援として必要であることがわかった。そこで、平成27年度から、1歳6か月児健診において、禁煙中及び喫煙している保護者を対象に、パンフレットを作成・配布して禁煙支援を行うなど、関係部署・機関で連携して取り組んでおり、継続していく。 また、肺年齢測定により自身の呼吸機能を知り将来のQOL維持のため生活習慣の改善(禁煙・運動・食生活)を図ることで、対象者の健康を維持・増進を図る。今後についても「尼崎市たばこ対策活動基本方針」を基に、関係部署・機関で連携して禁煙支援に取り組んでいく。</p> <p>【疾病対策課 精神保健担当】 ＜アルコール＞ アルコール依存症者のうつ病やうつ状態、自殺が多いことから、国の自殺対策強化基金を活用し、啓発活動を行って行っているところである。20代女性は男性よりも飲酒率が高いという報告もあり、女性の飲酒が一般化してきている。女性は男性にくらべて少ない飲酒量、飲酒期間でアルコールの健康被害を受けるといわれており、引き続き啓発活動を行っていく。</p> <p>【保健企画課】 ＜薬物＞ 薬物の乱用については若年層への広がりや違法ドラッグが社会問題となっており、今後とも関係機関と連携を図り、薬物乱用防止に努める。</p> <p>【疾病対策課 結核・感染症担当】 ＜HIV／エイズ・性感染症＞ エイズ啓発講演会については平成26年度から3年間、青少年教育に携わる職員を対象に講習会を実施した。インターネットの普及により容易に知識を得ることができるなか、エイズに関する正しい知識を身につけている職員が少ないことがわかった。このことから、今年度も同様に講習会を開催するとともに、教育委員会及び人権課、健康増進課等と連携を図りながら、青少年に向けてのより効果的な取り組みについて検討を行っていく。</p> <p>エイズ予防啓発キャンペーンについては、平日の昼間にJR立花駅前で行ったため、主に主婦層への啓発となった。本来の啓発対象である若年層に情報が届くよう、実施時間及び実施場所について検討を行っていく。</p>				
参考	関連する計画	地域いきいき健康プランあまがさき(地域保健医療計画)			
実施内容 (DO)	<p>※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいよう詳しく記載してください。</p>				
29年度	別紙参照	<p>【健康増進課】 1 喫煙による関連疾患(COPD・がん・循環器疾患)の発症・重症化予防のため、健診・検診時やイベント等を活用して、禁煙啓発および禁煙支援を継続していく。 2 新型たばこについては、国の動向や最新の情報を収集しながら、健康への影響等について市民に正しい知識の普及を図っていく。</p> <p>【事業推進担当】 平成30年6月に「尼崎市たばこ対策推進条例」を制定予定であるため、普及啓発のためのフォーラム開催、パンフレット作成を行う。また、条例に基づき禁煙支援を進めるため、より効果的な禁煙支援の取り組みを引き続き検討する。</p> <p>【疾病対策課 精神保健担当】 アルコール依存症は、うつ状態等から自殺につながる人が多いことから、自殺対策事業として取り組んでおり、平成30年3月には自殺対策計画の作成を行った。今後も、自殺対策計画に基づき、自殺に結びつく可能性の高い依存症について啓発に取り組んでいく。</p> <p>【疾病対策課 結核・感染症対策担当】 講演会及びキャンペーンは本来の啓発の対象とする若年層により情報が届くように、引き続き教育委員会及び健康増進課等と連携を図るとともに市内大学・専門学校等とも連携していく。</p> <p>【保健企画課】＜薬物＞今後も関係機関と連携を図り、薬物乱用防止に努める。</p>			
前年	28年度	別紙参照	<p>【健康増進課】 1 禁煙に対して無関心期にある喫煙者について 保健所でのCOPD健康相談や地区まつり等のイベント時に実施しているCOPD啓発・禁煙支援において、いかに喫煙者に関心をもってもらうかが課題であり、禁煙に対して無関心期にある者を禁煙関心期・準備期へと、禁煙チャレンジに向けて段階を進めていけるような情報提供の工夫が必要である。 2 新型たばこについて 新型たばこの使用と病気や死亡リスクとの関連性についての科学的根拠が得られていないことから、啓発や相談時にははっきりと根拠を伝えることができていない。</p> <p>【疾病対策課 精神保健担当】 未成年のアルコールの害については、知識が普及されていない一方で、実際には飲酒経験がある者が多くと推察される。特に、女性は男性に比べて少ない飲酒量、飲酒期間でアルコールの健康被害を受けやすい可能性が高いこともあり、引き続き啓発活動を実施する必要がある。</p> <p>【疾病対策課 結核・感染症対策担当】 1. 講演会について HIV・性感染症だけでなくLGBTや青少年の指向も踏まえた内容とし、教員だけでなく青少年に携わる職員の参加を得ることができたが、対象とする若年層に情報が届く手法の検討が必要である。 2. エイズ予防啓発キャンペーンについて キャンペーンの実施場所・日時等について、より対象とする若年層に対し効果的な実施にむけて検討が必要である。</p> <p>【保健企画課】 ＜薬物＞薬物の乱用については、若年層への広がりや違法ドラッグが社会問題となっている。</p>		
評価1	<p>(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか</p> <p>実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。(その他の特記事項) ↓</p> <p>を入れてください</p>				
課題	<p>(CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。</p>				
今後の方向性	<p>(ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。</p>				

実施内容	
29年度	前年 28年度
<p>【健康増進課】 ・COPD健康相談における禁煙支援(132人 内喫煙者84人) ・COPD健康相談で把握した禁煙希望者に対して、電話もしくは手紙で禁煙チャレンジ状況を確認し、状況に応じて禁煙支援を実施 (1ヵ月以内の禁煙希望者29人の内、連絡がとれなかった5名を除く24名中、禁煙中の者は13人) ・肺がん検診の結果通知書でたばこの健康影響に関する情報提供 ・母子健康手帳交付時の啓発ビラの配布(4,058人)、必要に応じて保健指導を実施 ・乳幼児健診での啓発ビラの配布 ・世界禁煙デーのポスター配布・掲示依頼(子育て関連施設:39か所) ・市内小中学生の禁煙ポスターを加工した媒体の公用車・公用自転車への掲示による啓発(5月25日～6月22日) ・市内主要駅6か所、6支所に受動喫煙防止啓発のための啓発のぼりを設置(5月25日～6月22日) ・市内禁煙外来マップを配布し、禁煙治療実施医療機関の情報を提供 ・市内医療機関と連携し、禁煙外来マップの情報を更新 ・地区まつり(大庄)において、喫煙者を対象に肺年齢測定と禁煙啓発を実施(41人 内喫煙者19人、喫煙経験者8人) ・たばこの健康影響に関する出前講座(関西保育福祉専門学校:247人)</p> <p>【事業推進担当】 ・禁煙支援や受動喫煙防止対策等を盛り込んだ、「尼崎市たばこ対策推進条例」の制定に向けて取り組みを進めた。</p> <p>【疾病対策課 精神保健担当】 <アルコール依存症等に対する啓発> ・平成29年12月18日(月)「依存症という病気について」 県立高校生等970名参加 講師:『リカバリハウスいちご尼崎』管理者・武輪真吾氏等 内容:高校生に対し、依存症全般の知識を伝達し、疾病に罹患するリスクの軽減を図った。 ・平成30年3月3日(土)「飲酒と健康を考えるあまがさき市民セミナー」 市民等125名参加 講師:『植松クリニック』院長・植松直道氏 内容:市民に対し、アルコール依存症に関する知識伝達及び回復のための社会資源の情報提供</p> <p>【疾病対策課 結核・感染症対策担当】 1. エイズ啓発講演会(市政課題研修として実施) (1)実施日 平成30年3月9日(金) 午後2時～午後4時30分 (2)内容 「HIV・性感染症からみた性的指向・性自認のつながり～LGBTの健康課題とその背景～」 (3)参加者 市内の小学校・中学校及び高等学校教員、本市職員等 53名 2. エイズ予防啓発キャンペーン (1)実施日 平成29年7月6日 (2)配布場所 JR立花駅前 (3)配布内容 エイズ予防啓発パンフレット・検査日啓発用ティッシュ (4)配布部数 1,000部</p> <p>【保健企画課】 ○「ダメ。ゼッタイ。」普及運動(平成29年7月6日)対象1,000人 JR立花駅周辺にのぼり・横断幕を掲出。啓発物品を配布した。 ○中学校への薬物乱用防止啓発パネル展示(市立中学校5校) 3年間で全市立中学校を1巡する。</p>	<p>【健康増進課】 (一部保健センターで実施) ・COPD健康相談における禁煙支援(162人 内喫煙者98人) ・肺がん健診の結果通知書でたばこの健康影響に関する情報提供 ・母子健康手帳交付時の啓発ビラの配布(4,021人)、必要に応じて保健指導を実施 ・乳幼児健診、2歳児歯科検診での啓発ビラ配布 1,624部 ・市内小学校5・6年生へたばこの健康影響啓発紙の配布(7,101部)と保護者アンケート実施・・・学校教育課と連携 ・市内こども関連施設・歯科医院への禁煙カレンダー配布 700部・・・教育委員会・尼崎市医師会・歯科医師会と連携 ・市内小中学生の禁煙ポスターの掲示による啓発(2月3日～2月6日)・・・学校保健課、尼崎市医師会と連携 ・禁煙ポスターを加工した媒体の公用車・公用自転車への掲示による啓発(5月20日～6月17日) ・市内主要駅5か所、6支所に受動喫煙防止の啓発のため啓発のぼりを設置(5月20日～6月17日) ・市内禁煙外来マップを配布し、市内禁煙医療機関を情報提供 ・立花 子ども夏まつり来場者に受動喫煙の健康影響の啓発、禁煙行動の促進を図る啓発ビラを缶バッジを配布(8月7日)・・・立花商店街振興組合 ・「尼崎市たばこ対策活動基本方針」を定め、禁煙支援を取組の柱の一つとした「尼崎たばこ対策宣言」(5月28日)を行った。</p> <p>【疾病対策課 精神保健担当】 ・薬物依存に関する啓発等 ①平成28年12月16日「青少年と依存症」 講師 新阿武山クリニック 平野 建二 医師 県立高校生等 648人参加 ②平成29年3月6日「危険な薬物に手を出す前に」 講師 疾病対策課職員 1名 県立高校1年生 323人参加 ③平成29年3月22日「思春期・若者の依存症について」 講師 リカバリハウスいちご尼崎 武輪 真吾氏他 県立高校1年生 319人参加</p> <p>【保健企画課】 ○「ダメ。ゼッタイ。」普及運動(平成28年7月7日)対象1,000人 JR立花駅周辺にのぼり・横断幕を掲出。啓発物品を配布した。 ○中学校への薬物乱用防止啓発パネル展示(市立中学校7校) 3年間で全市立中学校を1巡する。</p> <p>【疾病対策課 結核・感染症担当】 ・エイズに関する啓発等 ①エイズ啓発講演会 (1)実施日 平成28年11月28日(月) 午後2時～5時 (2)内 容 講演会「青少年の性感染症 ～予防と共生～」 講師 大阪市立総合医療センター 感染症内科 笠松 悠 医師 (3)参加者 尼崎市内の中学校・高校の養護教諭・保健主事・保健体育教諭等 24名 ②エイズ予防啓発キャンペーン (1)実施日 平成28年7月 (2)配布場所 JR立花駅前 (3)配布内容 エイズ予防啓発パンフレット・検査日啓発用ティッシュ (4)配布部数 1,000部</p>

平成30年度【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票

局	健康福祉局	課	健康増進課、疾病対策課	事業番号	5221
評価1	(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか				
実施できた項目に ☑ を入れてください	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。 文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓				
	評価2 (CHECK) 数値目標 目標項目 目標・実績				
実績の評価	目標値	達成年度	年度	28年度	29年度
	☐	達成している	☐	下回った	備考
評価3	(CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容				
	男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について				
課題	(CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。				
今後の方向性	(ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。				
	【健康増進課】 子育て世代は、子育ての不安やイライラが再喫煙へのきっかけになることも多いことから、不安に寄り添い子育て不安の軽減を図る。				

事業概要 (PLAN)					
基本目標	5 女性の生涯にわたる健康の確保				
方針	2 性差をふまえた女性の健康保持増進				重点方針
施策の方向	2 妊娠・出産期における女性の健康支援				
事業番号/事業名	5221 各種教室(思春期・エイズ・禁煙・成人健康)・保健師の健康相談				
事業内容	思春期の健康、エイズ、喫煙等に対する正しい知識を普及、啓発し女性の健康づくりを図る。また、学校と連携して防煙教室を実施する。				
29年度に向けた方向性 (PLAN)	【健康増進課】 <禁煙> 平成25年度に実施した調査研究「妊娠期から行う効果的な禁煙支援の検証」の結果から、「健やかな妊娠・出産を迎える」という目標が禁煙の動機づけとなった後、「自分のために家族のために禁煙をする」という長期目標への動機づけ支援を行うことが、禁煙継続の支援として必要であることがわかった。そこで、平成27年度から、1歳6か月児健診において、禁煙中及び喫煙している保護者を対象に、パンフレットを作成・配布して禁煙支援を行うなど、関係部署・機関で連携して取り組んでおり、継続していく。 また、前年測定により自身の呼吸機能を将来のQOL維持のための生活習慣の改善(禁煙・運動・食生活)を図ることで、対象者の健康を維持・増進を図る。 【疾病対策課】 <HIV/AIDS> 毎年、約400件の検査を行い、1,000件以上の相談に応じているが、保健所直営である現行のやり方には限界があると思われる。今後、検査及び相談機会を更に増やすため、方法について検討していく。				
参考	関連する計画	地域いきいき健康プランあまがさき(地域保健医療計画)			
実施内容 (DO)	※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。				
29年度	【健康増進課】 ・母子健康手帳交付時の啓発ビラの配布(4,058人)、必要に応じて保健指導を実施 ・市民課協力のもと、出生届出時に喫煙者のうち希望者を対象に禁煙宣言マグネットシート配布(400部) ・1歳6か月児健診時、禁煙中及び喫煙している保護者を対象に禁煙支援パンフレット配布(1,285人) ・たばこの健康影響に関する啓発リーフレットの配布(市内全小学校及び養護学校6年生)(3,509人) →平成29年度から保健所を経由せず兵庫県から教育委員会に直接依頼されている ・たばこの健康影響に関する出前講座(関西保育福祉専門学校:247人) 【疾病対策課】 1. HIV/AIDSに関する相談及び検査の実施 (1)HIV抗体検査 444件(男性293人、女性141人) (2)相談 1055件 ・性病の検査の実施 梅毒276件、クラミジア181件、淋病132件				
前年28年度	【健康増進課】(一部保健センターで実施) ・COPD健康相談における禁煙支援(162人 内喫煙者98人) ・肺がん健診の結果通知書でたばこの健康影響に関する情報提供 ・母子健康手帳交付時の啓発ビラの配布(4,021人)、必要に応じて保健指導を実施 ・乳幼児健診、2歳児歯科検診での啓発ビラ配布 1,624部 ・市内全小学校5・6年生へたばこの健康影響啓発紙の配布(7,101部)と保護者アンケート実施・・・学校教育課と連携 ・市内こども関連施設・歯科医院への禁煙カレンダー配布 700部・・・教育委員会・尼崎市医師会・歯科医師会と連携 ・市内小中学生の禁煙ポスターの掲示による啓発(2月3日～2月6日)・・・学校保健課、尼崎市医師会と連携 ・禁煙ポスターを加工した媒体の公用車・公用自転車への掲示による啓発(5月20日～6月17日) ・市内主要駅5か所、6支所に受動喫煙防止の啓発のため啓発のぼりを設置(5月20日～6月17日) ・市内禁煙外来マップを配布し、市内禁煙医療機関を情報提供 ・立花 子ども夏まつり来場者に受動喫煙の健康影響の啓発、禁煙行動の促進を図る啓発ビラを缶バッジを配布(8月7日) ・立花商店街振興組合との協働 【疾病対策課】 ・HIV/AIDSに関する相談及び検査の実施 (1)HIV抗体検査 449件 (2)相談 1,037件 ・性病の検査の実施 梅毒182件、クラミジア135件、淋病104件				

平成30年度【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票

局	健康福祉局	課	健康増進課	事業番号	5222
事業概要 (PLAN)	基本目標 5 女性の生涯にわたる健康の確保 方針 2 性差をふまえた女性の健康保持増進 重点方針 施策の方向 2 妊娠・出産期における女性の健康支援 事業番号/事業名 5222 妊娠・出産期における健康支援 事業内容 母子健康手帳交付時に全妊婦を対象に妊婦健康相談を実施、ハイリスク妊婦の早期発見、支援し、また妊婦健診の結果報告を活用し、妊娠中の健康管理と将来の疾病等の予防に努める。				
29年度に向けた方向性 (PLAN)	【健康増進課】 望まない妊娠や母子健康手帳交付の遅れ、妊婦健診未受診などの課題もあるが、医療機関との連絡会を積み重ねることにより、早い時期からの(妊娠11週以内の)妊娠届出数も増加しており、支援を必要とする妊婦への対応も医療機関と連携しながら行っている。 今後も医療機関と連携した支援体制を組み、妊娠・出産期における支援を継続して行っていくとともに妊娠期から切れ目ない支援体制を強化していく。				
参考	関連する計画	地域いきいき健康プランあまがさき(地域保健医療計画)			
実施内容 (DO)	※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。				
29年度	【健康増進課】(健康増進課・南北保健福祉センター地域保健課で実施) ・妊婦健診助成事業(前期:3,926人、後期:3,508人、基本:延べ35,560人(うち基本(S):3,768人)) ・支援が必要な妊産婦へ家庭訪問・面接・電話相談を実施 ・母子健康手帳交付時に保健師による全数の面接相談を実施し、若年及び高齢妊婦、シングルマザー、不安感、喫煙、飲酒などのリスクを把握し、早期に個別の支援につなげている。また、医療機関と連携し、支援が必要な乳児や妊産婦について、医療機関から情報提供書を介して、保健師が早期に関係機関と連携しながら支援に入る兵庫県システム(養育支援ネット)がある。年2回の医療機関との連携会議を開催することで、問題の共有や課題の整理などを行うとともに、関係機関との信頼関係を深め、支援のネットワークを図っている。 妊婦歯科健診(18回、425人) 妊婦歯科健診併設して「食事・歯のセミナー」を開催(18回、224人) マタニティセミナークッキング&ブラッシング(調理実習とオーラルケアの実技を取り入れた講座)(12回、70人)				
前年28年度	【健康増進課】(一部保健センターで実施) ・母子手帳交付時、保健師が全ての妊婦に対して面接相談を実施(7か所:4021人)(保健センター実施分も含む) ・妊婦健診助成事業(前期:3,897人、後期:3,580人、基本:延べ39,481人(うち基本(S):3,704人)) ・支援が必要な妊産婦へ家庭訪問・面接・電話相談を実施 ・妊婦歯科健診 ・母子健康手帳交付時に保健師による面接相談を実施し、若年及び高齢妊婦、シングルマザー、不安感、喫煙、飲酒などのリスクを把握し、早期に個別の支援につなげている。また、医療機関と連携し、支援が必要な乳児や妊産婦について、医療機関から情報提供書を介して、保健師が早期に関係機関と連携しながら支援に入る兵庫県システム(養育支援ネット)がある。年2回の医療機関との連携会議を開催することで、問題の共有や課題の整理などを行うとともに、関係機関との信頼関係を深め、支援のネットワークを図っている。 ・妊婦歯科健診(18回、403人)、歯科健診併設「食事・歯のセミナー」(18回、209人) ・マタニティクッキング(12回、75人) ・マタニティ歯ッピーセミナー(12回、59人) ※H29年度から「マタニティセミナー(クッキング&ブラッシング)」として実施				
評価1 (CHECK)	(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか 実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください				
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとられずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓				
評価2 (CHECK)	(CHECK) 数値目標 目標項目 目標・実績				
	目標値	達成年度	年度	28年度	29年度
実績の評価	<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考
評価3 (CHECK)	(CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容 男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について				
課題	(CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。				
【健康増進課】	平成28年度尼崎市健康づくりアンケート調査によると「産後の心身の状態」で「いつも疲れている」「イライラする」が約4割。「子育てに自信がない」が約4割と出産前後の妊産婦の不安が高い。子育てのイメージが出来ないまま育児を行っていたり、具体的に相談できる人が身近にいないことも一因と考えられる。				
今後の方向性 (ACTION)	(ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。				
	望まない妊娠や母子健康手帳交付の遅れ、妊婦健診未受診などの課題もあるが、妊娠期から妊産婦の不安に寄り添い継続した支援につなげていく体制を構築する。早い時期からの(妊娠11週以内の)妊娠届出数も増加しており、支援を必要とする妊婦への対応も継続して、医療機関と連携しながら行っていく。平成30年4月から南北保健福祉センター地域保健課に母子健康包括支援センターの機能付加したことにより、リスクの高い人のみならず、全妊婦を対象に妊娠期からの切れ目ない支援を行えるよう体制を構築していく。				

平成30年度【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票

局	健康福祉局	課	健康増進課	事業番号	5231
事業概要 (PLAN)	評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか				
基本目標	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。 文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓				
方針	5 女性の生涯にわたる健康の確保	重点方針			
実施の方向	2 性差をふまえた女性の健康保持増進				
事業番号/事業名	3 成人期・高齢期等における女性の健康づくり支援				
事業内容	5231 更年期健康支援	を入れてください			
29年度に向けた方向性 (PLAN)	評価2 (CHECK) 数値目標				
参考	骨の健康には、これまでの食生活や運動習慣、飲酒・喫煙習慣が影響することから、参加者が骨の健康度を知ることで、生活習慣を振り返り、より実践的な行動につなげ、将来のQOLの維持・増進を目指す。また、世代ごとの骨量や生活習慣の実態把握から、健康課題の明確化、解決策を検討する。				
実施内容 (DO)	※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。				
29年度	評価3				
前年28年度	(CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容 男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について				
	【健康増進課】(一部で実施) ○保健所内での骨量測定 ・骨元気アップ相談会 (方法)超音波骨密度測定装置を用いた踵の骨量測定、BIA法による体脂肪率、筋肉量等の測定と生活習慣アンケート、これらの結果に基づく健康教育を行う。 (実施日)毎週月曜日(午後1時～午後2時受付)と水曜日(午前9時～午前10時受付)に実施する。 (実績)95回、482人 ・子育て・働き世代(更年期)を対象とした骨量測定会(2回、33人) ○保健所外での骨量測定・・・29年度は特に、子育て・働き世代(更年期)を対象とした所外での「骨の健康づくり」の啓発に力を入れた。 ・市政出前講座による骨量測定(17回、406人) ・市内高校の文化祭における骨量測定会(生徒以外に教職員や保護者が対象:1回、120人) ・「立花商店街子ども夏まつり」、「すこやかまつり」における骨量測定会(2回、162人) ・3月1日～8日「女性の健康週間」にあわせ、パンフレット配布やポスター掲示等啓発を行う他、骨量測定会を実施(1回、49人)	(CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。			
	【健康増進課】(一部保健センターで実施) ○骨元気アップ相談会 (方法)超音波骨密度測定装置(AOS-100SA 日立アロカメディカル社)を用いた踵の骨量測定、BIA法(Inner Scan®50 タニタ社)による体脂肪率、筋肉量等の測定と生活習慣アンケート、これらの結果に基づく健康教育を行う。 (実施日)毎週月曜日(午後1時～午後2時受付)と水曜日(午前9時～午前10時受付)に実施する。 (実績)96回、529人 ○3月1日～8日「女性の健康週間」にあわせ、パンフレット配布やポスター掲示等啓発を行う。 ○女性の健康週間にあわせ、骨量測定会を実施(2回、86人) ○市政出前講座による骨量測定(13回、364人)	保健所内で実施している「骨元気アップ相談会」の経年参加者は、自身の骨密度への関心が高く、骨の健康づくりのための生活習慣(食生活・運動習慣等)の維持・改善に取り組んでいる人が多い。しかし、市全体の課題である「若い女性のやせ」や「朝食の欠食」、また、骨量測定を通して見えてくる「子育て・働き世代の運動習慣の取り入れにくさ」等の課題がある。			
		(ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。			
		引き続き、関係部署・機関と連携しながら市民が集う場所に出向き、世代ごとの目標(骨量形成・成長期、骨量維持期、骨量減少期)に向けた健康づくりの取組・啓発を行うことで、市民の生活習慣病の予防および「若い女性のやせ」、「朝食の欠食」等の課題解決につなげる。			

平成30年度【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票

事業概要 (PLAN)	
基本目標	5 女性の生涯にわたる健康の確保
方針	2 性差をふまえた女性の健康保持増進 重点方針
施策の方向	3 成人期・高齢期等における女性の健康づくり支援
事業番号/ 事業名	5232 子宮頸がん検診・乳がん検診の実施
事業内容	子宮頸がんや乳がんを早期に発見し、早期治療につなげるために子宮頸がん検診を実施する。また、がん検診の重要性などの意識啓発に努め、市民の健康管理意識の向上と健康の保持増進を図る。
29年度に 向けた 方向性 (PLAN)	【健康増進課】女性特有のがん検診の対象初年齢(子宮頸がん検診20歳、乳がん検診40歳)となる市民には、今後も無料クーポン券の発送による検診の無料化と個別受診勧奨を実施する。 がん検診者を対象にアンケートを実施し、受診動機を明らかにするとともに、受診率を向上させるために、啓発や受診環境整備を検討する。 【保健センター】乳幼児健診等子育て中の20～40代の女性が来所する機会を通して、女性特有のがんである乳がん・子宮がん検診の啓発や、小中学校の保護者に対する健康教育を継続して取り組む。
参考	関連する計画
実施内容 (DO)	※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。
29年度	<p>健康増進課</p> <p>1. がん検診</p> <p>①子宮頸がん検診</p> <p>【対象者】20歳以上(4月1日現在)の市民(女性)の方</p> <p>【方 法】問診、子宮頸部(膣部・頸管部)の細胞診検査</p> <p>【実 績】平成29年度 3,983人</p> <p>②乳がん検診</p> <p>【対象者】40歳以上(4月1日現在)の市民(女性)の方</p> <p>【方 法】問診、視触診、マンモグラフィ検査及び自己触診法の指導</p> <p>【実 績】平成29年度 4,413人</p> <p>※市のがん検診推進事業として、一定の年齢に達した者に対しがん検診の無料クーポン券を配付し受診を促進する。</p> <p>子宮頸がん検診(20歳の女性)、乳がん(40歳の女性)</p> <p>・子宮がん・乳がん検診のポスター掲示による啓発</p> <p>【地域保健課】</p> <p>・出前講座によるがん検診受診啓発・乳房模型を用いた自己触診法の指導(5回・63人)</p> <p>・乳がん月間(10月)に、6支所及び女性センターテレビエでのパンフレットの配布・パネルの掲示、乳幼児健診時の集団指導で講話を実施</p> <p>・がん予防に関する健康教育、がん検診の受診啓発に関する健康講座を実施(1階・12人)</p>
前年 28年度	<p>【健康増進課】</p> <p>1. がん検診</p> <p>①子宮頸がん検診</p> <p>【対象者】20歳以上(4月1日現在)の市民(女性)の方</p> <p>【方 法】問診、子宮頸部(膣部・頸管部)の細胞診検査</p> <p>【実 績】平成28年度 3,232人</p> <p>②乳がん検診</p> <p>【対象者】40歳以上(4月1日現在)の市民(女性)の方</p> <p>【方 法】問診、視触診、マンモグラフィ検査及び自己触診法の指導</p> <p>【実 績】平成28年度 3,790人</p> <p>※市のがん検診推進事業として、一定の年齢に達した者に対しがん検診の無料クーポン券を配付し受診を促進する。</p> <p>子宮頸がん検診(20歳の女性)、乳がん(40歳の女性)</p> <p>【保健センター】</p> <p>・子宮がん・乳がん検診のポスター掲示による啓発</p> <p>・小中学校の人権学習小集団(PTAの学習会)で乳がん等の予防・早期発見についての健康教育を実施(4回、42人)</p> <p>・生涯学習フェア(中央・小田・大庄・武庫)にて乳がんのポスターの掲示やモデルを用いた自己触診法の指導</p> <p>・乳がん月間(10月)に、パンフレットの配布・パネルの掲示、乳幼児健診時の集団指導で講話を実施</p> <p>・子育て交流会で乳がん検診の講話を実施(58人、2回)</p>

局	健康福祉局	課	健康増進課	事業番号	5232								
評価1	(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか												
実施できた項目に ☑ を入れてください	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。(その他の特記事項) ↓												
評価2	(CHECK) 数値目標												
目標項目	①子宮頸がん検診、②乳がん検診の受診率												
目標・実績	目標値	①②ともに増加	達成年度	33年度	<table border="1"> <tr> <td>28年度</td> <td>①8.7%(3,232人)</td> <td>29年度</td> <td>①8.8%(3,983人)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>②9.6%(3,790人)</td> <td></td> <td>②9.1%(4,414人)</td> </tr> </table>	28年度	①8.7%(3,232人)	29年度	①8.8%(3,983人)		②9.6%(3,790人)		②9.1%(4,414人)
28年度	①8.7%(3,232人)	29年度	①8.8%(3,983人)										
	②9.6%(3,790人)		②9.1%(4,414人)										
実績の評価	<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考								
評価3	(CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容												
	男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について												
課題	(CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。												
	ポスター掲示や出前講座等を通じ、受診勧奨に取り組んでいるものの、子育て中の20～40代の受診者数は少ない。												
今後の方向性	(ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。												
	がんの早期発見と正しい健康意識の受給啓発に努め、健康の保持、増進を図る。 リーフレットの工夫やがん検診手帳の整備等、医療機関でのポスター掲示等の受診啓発を通じ、がん検診の受診促進を図る。												

平成30年度【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票

局	市民協働局	課	ダイバーシティ推進課	事業番号	5233
事業概要 (PLAN)		評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか			
基本目標	5 女性の生涯にわたる健康の確保	実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。 文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓		
方針	2 性差をふまえた女性の健康保持増進 重点方針		を入れてください		
施策の方向	3 成人期・高齢期における女性の健康づくり支援				
事業番号/事業名	5233 女性の健康についての啓発				
事業内容	生涯を通じた女性のこころとからだの健康を支援するため、多様な年代を対象とする講座を行う。				
29年度に向けた方向性 (PLAN)	【女性センター】行政、民間団体、市民団体等と協力しながら事業(展示、情報提供、セミナー等)を実施していくことで、女性の健康について幅広い周知につながるよう努める。				
参考	関連する計画				
実施内容 (DO)	※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。				
29年度	【女性センター】 ●女性のこころとからだの健康支援 ○「ツボミスクール 成長期の女の子のからだを知ろう&かんたんタオルポーチ作り」(講師:弓戸 貴子(株)ワコール ツボミスクールインストラクター 受講者数:11組23人) ○「平成29年度男女共同参画市民企画講座 マインドフルネスを楽しむ ~ストレスと上手につきあうコツを体験しましょう~」(講師:林 玲子 受講者数:32人) ○「あまがさき女性フェスティバル 骨密度測定」(尼崎市健康増進課 50人) ○「母娘関係で悩んでいる女性のためのグループカウンセリング」(講師:フェミニストカウンセラー のべ30人) ●「ピンクリボンキャンペーン ギャラリー展&無料イベント」(15日間) ●ブックフェア「女性のための防災」『ピンクリボン』				
	前年28年度	【女性センター】 ●女性のこころとからだの健康支援 ○「ツボミスクール 成長期の女の子のからだを知ろう&防災・防犯デコホイッスル作り」(講師:弓戸 貴子(株)ワコール ツボミスクールインストラクター 受講者数:13組27人) ○「2016あまがさき女性フォーラム ワークショップ2 女性のためのココロとカラダのボディワーク」(講師:栗岡 多恵子 Brisaブリーザ 主宰 受講者数:14人) ○「私は私、わたしの人生を生きる~母との関係に悩むあなたに~」(講師:加藤 伊都子(有)フェミニストカウンセリング塚 受講者数:のべ68人、カウンセリングのべ30人) ○「アートセラピーによる心の解放」(講師:掛川りり子、中西伸子 いきいきアート教室「ぷくぷく」 受講人数:21人) ●「ピンクリボンキャンペーン ギャラリー展&無料イベント」(15日間)			
評価2 (CHECK) 数値目標					
目標項目					
目標・実績	目標値	達成年度	年度	28年度	29年度
実績の評価	<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考
評価3 (CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容					
評価3 (CHECK) 男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について					
課題 (CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。					
担当者が毎年変わる連携先もあり、良好な関係を築くために丁寧な事業説明が必要である。					
今後の方向性 (ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。					
行政、民間団体、市民団体等と協力しながら事業(セミナー、展示、情報提供等)を実施していくことで、女性の健康について幅広い周知につながるよう努める。					